

## 「2020 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 栃木」の開催を終えて

栃木県栃木市 教育長 青木 千津子

### ◆ 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言

令和3年の年明けとともに拡大する新型コロナウイルスの感染に対して、国は1月8日に首都圏1都3県を対象とした緊急事態宣言を発出し、5日後の13日には栃木県も対象地域に追加されました。

「これでは、‘人を集めて大会を行うこと’は、参加される方々の安全を第一に考えると非常に難しい。」開催地として、苦渋の決断をしなくてはならない状況でした。

### ◆ ‘通常開催’から‘無観客開催の動画配信’へ

本市では、令和3年2月の大会開催に向け、学校運営協議会の会長や本市版の地域学校協働活動である「とちぎ未来アシストネット」に携わる地域コーディネーター、PTA連合会、青年会議所（JC）等からの代表者で構成される大会実行委員会を設立していました。

夏頃の協議では、前日を含む2日間で延べ250名のスタッフを配置する‘通常開催’を想定していたものの、その後、‘参加人数の制限’から‘無観客開催での大会模様の動画配信’と次々に方針の変更を余儀なくされ・・・そして遂に誰もお招きすることなく、事例発表を全国各地でそれぞれ収録し配信する、デジタルフォーラムに切り替えざるを得なくなりました。年を明けての急な判断については、主催である全国コミュニティ・スクール連絡協議会及び文部科学省と本市教育委員会による協議で方針を定め、実行委員会については一堂に会することも難しく、直接の電話及び文書によって了解を得ることで代えました。委員の方々から、落胆の色は否めないながら、一様の理解を示すお気持ちと事務局への労いのお言葉をいただいたことは、実にありがたいことでした。



教育長 青木 千津子

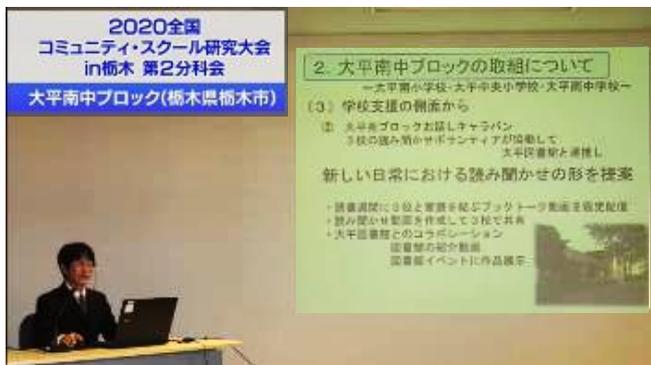
### ◆ 「新しい日常」における開催

正直、誰もお招きできない大会の開催はとても残念なことです。ただし、こうした中であっても、全国規模の研究大会について、計画の段階とはいえ多くのスタッフを集める目途が立ち、十分に運営が可能という確信が持てたこと、本市の学校と地域の連携を支える方々の代表的な組織である実行委員会において、改めてコミュニティ・スクールの重要性を確認し合うことができたこと等、得られたものは少なくありませんでした。そして何より、全国からの12の先進的な事例発表をいつでもどこでも視聴できるという今大会の形式が、様々な行動が制限される「新しい日常」において大変有効であるとの手応えを得られたことに、開催地として一定の達成感を覚えることができました。

### ◆ ‘マイナスをプラスに、ピンチをチャンス’に！

現在、栃木市ホームページに8月31日までの期限を設けたうえで事例発表の動画を掲載しています。また、この動画については市内全ての学校運営協議会委員をはじめとした多くの方々にチラシ等で周知し、各々の活動に生かしていただくようお願いしております。

‘マイナスをプラスに、ピンチをチャンスに変える！’今大会を終え、栃木市は、「いい学校づくりいいまちづくり」に今後一層励んでまいる所存です。結びに、大会開催に向けてご支援・ご協力を賜りました全ての方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



デジタルフォーラム実践事例発表 動画配信の様子

栃木市 HP 栃木市コミュニティ・スクール

検索

<https://www.city.tochigi.lg.jp/site/kosodatekyouiku/35815.html>

二次元コードは  
こちらから



## 文部科学省「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議」が開催されています

令和3年3月に「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議」が設置され、4月23日に第1回が、5月27日に第2回の会議が開催されました。全国コミュニティ・スクール連絡協議会として貝ノ瀬会長が委員となっているほか、本会評議員の鳥取県南部町教育委員会 福田教育長、本会特別会員の日本大学文理学部 佐藤晴雄教授が委員となっています。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）については、平成29年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正時の附則において、法施行後5年を目途としてその在り方について検討を加えるものとされています。また、その導入数は着実に増加していますが、地域によって導入状況に差が見られることから、更なる設置の促進や活動内容の充実を図るため、この会議においてコミュニティ・スクールの在り方等について検討することとしています。

委員名簿、会議資料、会議録は文部科学省ウェブサイト（二次元コード参照）でご覧になれます。



会議の様子（文部科学省提供）



## 「臨時総会」の開催のお知らせ

「令和3年度全国コミュニティ・スクール連絡協議会臨時総会」を書面にて開催させていただきます。つきましては、令和3年7月を目途にメールまたは郵送にて関係書類を送付いたしますので、ご対応の程どうぞよろしくお願いいたします。

- |        |          |                                 |                   |
|--------|----------|---------------------------------|-------------------|
| 《主な議事》 | (1) 報告事項 | ・ 会員の登録状況について                   | ・ 令和2年度の活動・決算について |
|        | (2) 協議事項 | ・ 役員人事について                      | ・ 事務局について         |
|        |          | ・ 令和3年度の活動・予算について               |                   |
|        | (3) その他  | ・ 令和4年度全国コミュニティ・スクール研究大会開催地について |                   |

## 令和3年度「全国コミュニティ・スクール研究大会」開催のお知らせ

- ◆ 日時 令和3年11月6日（土）午前9時30分から午後4時30分まで
- ◆ 会場 三鷹市公会堂「光のホール」（メイン会場）、「さんさん館」他  
住所 東京都三鷹市野崎一丁目1番1号

### 全国コミュニティ・スクール連絡協議会

事務局 東京都三鷹市教育委員会 教育部教育政策推進室  
〒181-8505 東京都三鷹市下連雀九丁目11番7号  
電話 0422-45-1151（内線 3221）  
電子メール [kyouikuseisaku@city.mitaka.lg.jp](mailto:kyouikuseisaku@city.mitaka.lg.jp)  
ホームページ <http://www.japan-cs.org/>